

「令和5年度全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチ」の結果について

《基本的な考え方》

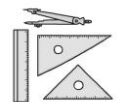
全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析を行い、「教育施策の成果と課題の検証及びその改善を図ること」「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること」を通じて教育に関する継続的な検証と改善のサイクルを確立することを目的にしています。

またすくすくウォッチは、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章、情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取り組みです。

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

○子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ることによって、学習意欲を高め、自ら目標を持つことにより今後の学習の改善や励みとしていく。

○学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。



《調査結果の取り扱い》

今年度は、全国学力・学習状況調査とすくすくウォッチの結果と分析を提供いたします。

◇本調査により測定できるのは、学力に限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。

◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取り組みの検討とともに、学校における課題を整理して改善する取り組みを進めていきます。

《お願い》

□学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子さまの伸びや課題を知り、まずは良いところを褒めてください。その上で、課題についてがんばって克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子さまの学習意欲を高めることにつながります。

□学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願いいたします。



令和5年度 全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチの分析

河内長野市立高向小学校 6年生

【 全国学力・学習状況調査について 】

【 国語 】

概要

大阪府の平均正答率を4ポイント、全国の平均正答率を2.8ポイント上回っている。全ての問題で大阪府・全国を共に上回っているものの、記述式問題で無回答がやや多いことが課題である。

特に成果が見られた問題例

- ①(1)原因と結果など情報と情報との関係についてよく理解できていた。
- ②(3)情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解できていた。

特に課題が見られた問題例

- ①(3)送り仮名を正しく覚えることができていない児童が多かった。
- ①(2)②(3)自分の考えが伝わりやすいように書き表し方を工夫したり、自分の考えをまとめたりに関して無回答がやや多い。また、条件に合わせてまとめることに課題がある。
- ②(2)目的に応じて、必要な情報を見付ける問題。資料や選択肢をよく見ずに部分的に読み解答したと考えられる。
- ③(3)日常よく使う敬語を理解しているか確認する問題。尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく使うことに課題がある。

【 算数 】

概要

全国の平均正答率を7ポイント上回っている。図形に関する基礎的な知識・技能や、日常の事象を数学的に処理する問題において、正答率が良かった。

特に成果が見られた問題例

- ②(2)全員が正答であった。正方形の意味や性質についてよく理解していた。
- ③(3)計算の順序についての決まりをよく理解していた。
- ④(3)(4)目的に応じてデータの特徴や傾向を読み取ったり、捉えたりすることができた。

特に課題が見られた問題例

- ①(1)伴って変わる2つの数量の関係について、規則性を見つけることができなかつたと考えられる。
- ①(4)50×40の計算が正しくできない児童が多かった。
- ③(1)(5+4)×28の式において、()内が表しているものを選ぶべきところを、式全体が表しているものを選んでしまい間違つたと考えられる。

【 すくすくウォッチ 理科 】

概要

大阪府の平均正答率より 4.3ポイント上回っている。特に、光と空気の性質についてよく理解できている。

特に成果が見られた問題例

①(2)②(2)②(5)空気の性質や、月の観察記録、雨が降り出すときの雲の様子についての正答率が高く、実験したり観察したりしたことについてよく理解していた。

特に課題が見られた問題例

①(1)「並列つなぎ」の用語は知っているが、その意味を十分理解できていない。

①(3)問題文に書かれている解答条件についての読み取りが出来なかったと考えられる。

①(4)太陽の光を集める工夫を見出す問題。活用の場面で課題がみられる。

②(6)2つの資料を読み取る問題。2つの資料と、天気の変化についての知識を生かして、天気を予想することに課題がみられる。

【 すくすくウォッチ わくわく問題（教科横断的な問題） 】

概要

大阪府の平均正答率より 8.5ポイント上回っている。その中でも内容を論理的に考える力、新たな課題を考える力、自分の考えをまとめ伝える力が、大阪府平均より10ポイント以上高い。この部分が平均を大きく上げている要因である。

特に成果が見られた問題例

③(3)さまざまな情報をもとに、自分で記号を作り出し、その工夫について説明する問題では、全員が正答であった。

特に課題が見られた問題例

②(3)与えられた3つの条件(①もとにする資料を選ぶ ②選んだ資料にどのような問題があるのか考える ③その問題を解決する方法を考える)に合わせて書く問題で、①②③を記述した回答が47.8ポイントあった一方、①③のみ記述した回答が26.1ポイントもあった。ここから、根拠を明確にすることに課題があることが伺える。

【 学力・学習状況調査及びすくすくウォッチのアンケート 】

○肯定的な回答が多かったアンケート項目

- ・先生は、あなたの良いところを認めてくれている。
- ・あなたの学級は、日直や係の仕事をがんばっている。
- ・学級会では、自分たちで意見を出し合って物事を決めている。
- ・あなたの学級は友だちが困っている時には助け合う。
- ・悲しんでいる人を見ると、なぐさめたくなる。
- ・人ががんばっているのを見たり聞いたりすると、応援したくなる。
- ・話し合いをするとき、友だちの意見を最後まで聞いている。
- ・周りに困っている人がいると、早く解決するといいなあとと思う。
⇒昨年度同様、学級が安心して前向きに取り組める場所になっている。また、自分だけでなく友だちと助け合い、ともに伸びようとする心の成長が見られる。

○課題が見られたアンケート項目

- ・その時間に学んだことについて、ふり返りをしている。
- ・どこに行っても、新しい物事や経験を探す。
- ・休み時間と授業時間との気持ちの切り替えができる。
- ・イライラを感じる時は、考え方を変えて落ち着いていられるようにする。
⇒指示されたことを処理できるが、自分で考えて生み出したり探したりする活動は、苦手意識を持っている。
- ・家の人とその日の出来事について話をしている。
⇒昨年度は肯定的な回答が多かったが、今年は変化した。家庭よりも友だちとの関係性が密になってきたことによる成長の表れと考えられる。

令和5年度 すくすくウォッチの分析

河内長野市立高向小学校 5年生

【 国語 】

概要

大阪府の平均正答率を11.5ポイント上回っている。ほとんどの問題の正答率が70%をこえている。

特に成果が見られた問題例

- ②(2)助詞の使い方を理解し、文中で正しく使うことができた。
- ⑦(2)文中における言葉の意味を正しく理解し、その反対の意味を表す言葉を理解していた。
- ⑨一文を二文に分けて書く時、文と文の意味のつながりを考え、適切な接続語を使うことができた。

特に課題が見られた問題例

- ①書かれた文の意味を正しく捉え、「速い」と「早い」などの同音異義語を使い分けながら適切な漢字を使って書くことに課題がある。中でも「着いた」を漢字で書くことができなかった児童が多かった。
- ④大文字と小文字を適切に使い分けながら、地名など日常で使う言葉をローマ字で正しく書くことに課題がある。
- ⑤(2)「蛍雪の功」という故事成語の意味を知らない児童が多く、文中で正しく使うことができていなかった。

【 算数 】

概要

大阪府の平均正答率を14.4ポイント(知識・技能16.4ポイント、思考・判断・表現9.3ポイント)上回っている。大阪府の平均正答率がかなり低い中、子どもたちはとてもよく頑張ったと考える。しかし、思考・判断・表現の記述式問題で、無回答がやや多かったことに課題がある

特に成果が見られた問題例

- ①(1)宿題の計画を立てる場面を題材とした単答式問題。わり算を正しく立式し、答えることができた。
- ②(3)タイルの装飾を見た場面を題材にした単答式問題。長方形と正方形の面積の差を表す文章を、正しく理解できていた。

特に課題が見られた問題例

- ①(3)問題文やグラフから読み取れる情報をもとに計算し、必要な数量を求めることができなかった。
- ②(4)正三角形を敷き詰めても長方形や正方形を作ることができないことを説明するどころか、できない四角形を選ぶこともできていなかった。

【 理科 】

概要

大阪府の平均正答率を7ポイント上回っている。思考・判断・表現にくらべて、知識・技能の正答率が低い。

特に成果が見られた問題例

①(2)空気の性質について、よく理解している。

①(4) 太陽の光の性質について、よく理解しており、言葉で工夫と理由についても述べている。

特に課題が見られた問題例

①(1)「並列つなぎ」②(4)「子葉」など、用語は知っているが、その意味を十分理解できていない。

②(3)実験器具の使い方がきちんと理解できていない。

【わくわく問題(教科横断的な問題)】

概要

大阪府の平均正答率より7.4ポイント上回っているその中でも、内容を関連付けて正しく捉える力(10.5ポイント上)、論理的に考える力(8.4ポイント上)が大阪府平均より優位に高い。一方、内容を関連付けてそれをもとに新たな課題を考えることについては府平均よりも低く課題があると考えられる。

特に成果が見られた問題例

③(3)さまざまな情報をもとに、自分で記号を作り出し、その工夫について説明する問題では88.9ポイントの正答があった。自分で工夫して相手に伝える力は有意に高いと感じる。

特に課題が見られた問題例

②(3)与えられた3つの条件(①もとにする資料を選ぶ ②選んだ資料にどのような問題があるのか考える ③その問題を解決する方法を考える)に合わせて書く問題で、①②③を記述した回答が7.4ポイントしかなく、①③のみ記述した回答が37ポイントもあった。ここから、根拠を明確にすることに課題があることが伺える。

【 すくすくウォッチのアンケート 】

○肯定的な回答が多かったアンケート項目

- ・自分は何か得意で何か苦手かを分かっている。
- ・先生は、あなたが間違っただけをしたとき叱ってくれる。
- ・あなたの学級は、友だちの良いところを互いに認め合える。
- ・あなたの学級は、友だちが困っているときには助け合う。
- ・あなたは、困ったときに相談できる友だちがいる。
⇒自分について考えたり見つめたりすることで、自己理解を進めることができている。
また、友だちにも目を向け、受け入れることができている。

○課題が見られたアンケート項目

- ・はっきりした明快な答えが出るまでずっと考える。
- ・自分の考えを積極的に発言している。
- ・学級会の話し合いでは、少数意見も大切にしている。
- ・話し合いをするとき、自分の意見と他の人の意見を比べている。
⇒粘り強く考えたり、自分の意見を深めて発言したり、友だちの意見を聞いたりすることに課題がある。

【 6年生全国学力・学習状況調査と、5・6年生すくすくウォッチの結果を受けて 】

(1) 学校が重点的に取り組んでいくこと

- 国語の授業を中心に、目的に応じて自分の考えをまとめ表現する授業を充実し、互いに高め合う場を作っていきます。
- 学んだことを生活と結び付けて考えたり、他教科と結び付けたりし、社会にでたときに役立つことを意識させるような授業づくりを工夫します。
- 課題解決に向けて、これまでの知識を総動員して考える探究的な授業を取り入れたり、学習したことを短くまとめ相手に伝えたりするような学習活動を取り入れたりします。
- タブレット端末を継続して活用し、e-ライブラリのドリル学習で習熟を図ったり、自分の理解度を把握したり、課題を確認するなど、各教科に合わせて取り組むことで学びを確かなものにしていく手立てとなるようにします。
- 確かな学力を培う一方策として、本校が研究パイロット校として取り組んでいる「思考スキル」の研究を継続して深めていきます。

(2) 児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

- 自分の得意なことを伸ばしましょう。得意なことを学習している時間は楽しく、もっと学びたくなる気持ちを高めてくれます。それが、得意でない学習にもチャレンジする気持ちにつながります。
- 自主勉強を行うときに、疑問に思ったことやわからなかったことを調べてみましょう。また、理解を深めるために自分の言葉で知識をまとめてみましょう。
- 毎日一つ新しいことわざや故事成語を学んでみてください。学んだことを友だちや家族と話題にすることで、より深く理解することができます。自主勉強で取り組んでみるのもいいですね。
- 自分があまり読まない分野の本も読んでみましょう。友だちや図書委員会、図書室司書の先生がおすすめてくれたり読み聞かせてくれたりした本を、もう一度読んでみるのもいいですね。



(3) 保護者のみなさまにご協力いただきたいこと

- 学校では、お子さまの生活や学習の様子を認め、ほめる機会をたくさん作るように心がけています。宿題で持ち帰っているドリルやノートは、学校でのがんばりの結果が良く表れています。ご覧になって、気になる点がある時には、お話を聞くような雰囲気でお話などしていただき、学校にもご連絡をいただけますようお願いいたします。家庭と学校でお子さまの様子を共有した上で、完璧でなくても良くなっていたり、お子さま自身でできるところが増えたりした時には、がんばりを認めて大いにほめて、自信とやる気につなげたいと考えています。
- 自分で学習の計画が立てられる力は、中学校進級に向けても重要です。
 - ①内容(何の勉強が必要か) ②目標(どこまでできたらゴールとするか) ③時間(いつ始めて、いつまでに終わるか)を、お子さまが自分で決めて進めることができているか、家庭学習週間などの機会を活用していただき、励ましのお声掛けをお願いします。
- スマートフォン、タブレットの使用に関しては、子どもたちも、家庭で話し合ったルールや、学校で学んだ危険性や注意点について理解できているようです。一方で、なかなか自分事として考えるべく、約束を越えて感情や欲求のままに使用してしまうなど、その使い方については多くの課題があります。子どもたちの可能性を広げていくためにも、単に SNS や動画視聴を制限するのではなく、制限している意味を話し合う機会を持っていたいただけたらと思います。
- 小学校高学年の子どもたちは、思春期を迎え、身体とともに心も大きく成長します。読書は、想像力や思考力・読解力を高めるとともに、心と体のアンバランスから生じる不安や悩みなどを穏やかにしてくれるものです。学校でも、読書タイムを設ける、読書紹介に取り組むなどしていきます。

残暑もひと段落し、過ごしやすい気候となるこの時期、お家の方が好きだった本と一緒に読んだり、親子でそれぞれ気に入った本を手にとって読書したりする時間をぜひもっててください。

